

1 開催日時 平成27年 7月10日(金) 10:30~11:45

2 会場 鎌ヶ谷市役所庁舎 6階 第1、第2委員会室

3 出席者 (1) 委員 12名

菅野勝利会長、塙正浩副会長、北尾法之副会長、古瀬洋司委員、片平房子委員、須田康子委員、樋口宏次委員、飯田喜治委員、皆川洋子委員、目黒哲委員、安東美紀子委員、土岐都子委員

(2) 事務局 3名

小高クリーン推進課長、山崎業務係長、澤田主事

(3) 説明員 1名

道路河川管理課 荒木主査補

4 傍聴者 なし

5 会議

会議に先立ち、自治会連合協議会、商工会及び赤十字奉仕団の推薦による委員の変更に伴う委嘱状交付式を実施し、新たに、塙正浩氏、北尾法之氏及び皆川洋子氏を委員として委嘱した。

互選により塙正浩委員及び北尾法之委員を副会長に選出した。

名簿登載順により古瀬洋司委員、片平房子委員を議事録署名人に選出した。

議事進行上、他の議題に先立ち「6 その他」より開始した。

(1) その他(道路愛護活動について)

本市道路河川管理課より、道路愛護活動及び環境美化推進団体への周知に関する説明をした。

委員：活動に要する費用は全て団体の負担との記載があるが、どういうことか。

管理課：スコープなど活動に必要な経費は、団体で負担をするということである。

委員：現在の登録団体数はどの程度あるのか。

管理課：現在は19団体である。

委員：活動中に他人を怪我させた場合の補償等はどうなっているのか。

管理課：詳細な部分までは不明である。

→その他、異議なく終了した(道路河川管理課 退出)。

(2) 鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会の委員の推薦について

鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会委員の任期満了に伴う推薦委員の選出を行った。

互選により、古瀬洋司委員を推薦することとした。

(3) ごみの散乱のない快適なまちづくりキャンペーンについて

事務局より、ごみの散乱のない快適なまちづくりキャンペーンについて説明をした。

会 長：事務局の説明に対し、何か意見等はないか。

委 員：本キャンペーンは、毎回午前7時から1時間程度実施しているが、通勤途中であることから物資等を受け取ってもらえないケースが多い。時間帯を夕刻に変更した方がよいのではないか。

委 員：啓発物資として自宅で利用する生ごみの水切り袋を配布するのなら、直接家に持ち帰れるような夕刻の方が適切であると思う。

委 員：今年度は、午後6時から1時間程度にしてはどうか。

事務局：了承した。

委 員：生ごみの水切り袋であるが、悪臭や鳥獣被害に効果が期待できるのであれば、自治会を通じた全戸配布を行った方がよいのではないか。

委 員：生ごみの水切りを推進することは、よい試みである。多少費用が掛かったとしても、自治会全戸配布等を利用して周知するべきである。

→その他、異議なく承認された。

(4) リサイクルフェアについて

事務局よりリサイクルフェアについて説明をした。

会 長：事務局の説明に対し、何か意見等はないか。

委 員：昨年度はどの程度の本数の傘を販売したのか。

事務局：1, 100本である。

会 長：本日出席している委員で、リサイクルフェアに参加できる委員はいないか。時間帯としては、混雑が予想される午前10時から午後1時程度までを想定している。

→北尾法之副会長、須田康子委員、安東美紀子委員、皆川洋子委員の4名が立候補した。

平成27年10月24日(土)に安東美紀子委員、皆川洋子委員が、25日(日)に北尾法之副会長、須田康子委員が参加することとなった。

→その他、異議なく承認された。

(5) 平成27年度ごみゼロ運動結果及び対象外品目調書について

事務局より平成27年度ごみゼロ運動結果及び対象外品目調書について説明をした。

会 長：ごみゼロ運動の対象外品目が増加しているのは、問題である。

委 員：ごみゼロ運動のチラシは自治会を通じて配布しているが、自治会未加入者には配布されていない。配布されていない世帯に対し、周知を行うべきである。

委 員：集合住宅等に住んでいる方は自治会未加入者が多いため、集合住宅のオーナーに説明会やチラシの配布を行い、オーナーから居住者に説明をしていただければいかがか。

委 員：ごみゼロ運動にて配布される袋の種類や配布枚数が必要以上に多い気がする。

委 員：自治会でも各世帯に配布するのが、困難となっている。

事務局：ごみ袋の配布方法については、各自治会に任せている。

その他、特になく会議を閉会した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するために次に署名する。

平成27年 7月24日

氏名 古瀬洋司

氏名 片平房子